

文華

ぶんか



「偃武修文」

辻 敬齋

令和八年二月二十五日 印刷
令和八年三月一日 発行
毎月一回一日発行 (文華) 第七十三卷 第三号

書道研究

真弓書道會事務所発行

3

2026
(862号)

〈令和八年度前期昇格試験課題参考〉



令和八年度前期昇格試験作品募集要項

作品送り先 水戸市宮町一丁目九一八一二〇八 真弓書道會事務所

作品締切 令和八年四月三十日(必着)

表 六月号文華誌上

種別	料紙	枚数	課題	試験資格	試験料
師範試験	条幅(半切) タテ書	四体四枚 ◎臨書(下の課題を書く) (書譜) ◎十四字 隸・楷・行または草 (行草混体可)	◎臨書「書譜」(落款は◎◎臨とすること) 六文、化肇自軒 六文、興始於羸正 六文之作肇自軒 八體之興始於羸正 ◎六文の作らるるは、軒輅より肇まり、 八體の興るは、羸正に始まる。	八段以上	八、八〇〇円
八段試験	条幅(半切) タテ書	三枚三枚 ◎十四字 隸・楷・行または草 (行草混体可)	◎十四字課題 一夕輕雷落萬絲 霧光浮瓦碧參差 ◎一夕の輕雷 万糸を落とす 霧光 瓦に浮かび 碧參差たり	五段以上	七、七〇〇円
五段試験	条幅(半切) タテ書	二枚二枚 ◎十四字 楷・行または草 (行草混体可)	◎五字課題 山晴花 更繁 山晴れて花更に繁し 山は晴れて花がひとさわ華やいでいる。	三段以上	六、六〇〇円
三段試験	条幅(半切) タテ書	◎五字 隸・楷・行・草 ◎五字 書体自由		初段以上	四、四〇〇円
初段試験	半紙 タテ書	◎五字三枚 楷・行・草		一級以上	三、三〇〇円
一級試験	半紙 タテ書	◎五字二枚 楷・行		新入以上	二、二〇〇円

高校生部は一般部と同様のパターンで受験のこと。(※月例の課題で出品されても審査いたしません。)

受験料 出品料は概ね現金書留か郵便振替で納入のこと。小為替は使用しないで下さい。出品締切までに出品料を納めていない場合は、審査から除外されます。

半紙作品 隸・楷・行・草書の順に、テープでタテに継いで左下部に出品票を貼付して下さい。落款は、各書体に合わせて所属、段級、姓号を必ずお書き下さい。行、草に楷書は書かないように。

条幅作品 落款は号か名だけ、左側余白に所属、段級、姓号又は姓名を鉛筆で書き、臨・隸・楷・行草の順に重ねて一番上の作品に「付箋」をつけて下さい。

付箋 作品の左下部に現在段級、姓名(号)を記入の上必ず昇段試験用の付箋を貼付のこと。

その他 合格者は、実力相当の段級位に昇格又は編入する。成績は「文華」六月号に掲載する。

※誤字・脱字は審査対象外となります。十分注意して出品して下さい。

※出品者一覽表を添えて御出品下さい。

手本特別揮毫(半紙はコピー。名前のみ肉筆) 手本希望者は返信用封筒に切手貼付、現在段級を明記し、所定の料金を同封の上左記へ御申込み下さい。(住所変更していません。)

〒310-0015 水戸市宮町一丁目九一八一二〇八

辻 敬齋

師範試験 二、〇〇〇円 八段試験 九、〇〇〇円
五段試験 八、〇〇〇円 三段試験 四、〇〇〇円
初段試験 一、五〇〇円 一級試験 一、〇〇〇円
(お願い) 返信用封筒は角3形以上の大きさのものでお願いたします。

※令和八年四月時での学年課題で出品して下さい。

〈令和八年度前期昇格試験課題参考〉



5 年
(平 安)



6 年
(春 光)



中 1 年
(文 武 両 道)



中 2・3 年
(将 来 の 希 望)



1 年
(ほ し)



2 年
(ち か い)



3 年
(心 が け)



4 年
(左 右)

令和八年度前期昇格試験作品募集
送り先 真弓書道會事務所
水戸市宮町一〇九一八―二〇八
締切 令和八年四月三十日(必着)
課題 幼年(くち) 一年(ほし) 二年(ち
かい) 三年(心がけ) 四年(左右)
五年(平安) 六年(春光) 中学一
年(文武両道) 中学二・三年(将
来の希望)
出品料 一、一〇〇円。各支部長とりま
めの上、出品者一覽表を添えて御
出品下さい。
その他 合格者は実力相当段級位に昇格又
は編入する。成績は「文華」誌上
に掲載します。
出品料は極力現金書留か郵便振替
で送付する。振替で送金ときは
領収書を(コピー可)同封するこ
と。出品締切までに出品料を納め
ていない場合は、審査から除外さ
れますからご注意下さい。
付せん 支部名、現在段級、氏名をはっき
り書いて、左下部に貼付して下さい。
級位がはっきりしないときは
昇格の責任はもちません。
送付 昇試作品は月例競書作品と同封し
ないこと。封筒には必ず「昇試」
と朱書すること。
審査 審査後着は審査対象外となります。
手本揮毫料 一体一点 五〇〇円
(事務所または添削担当の先生に
お願いして下さい。)



幼 年
(く ち)

これまで特待生として合格された皆さんには、その努力を称え記念楯を贈呈してまいりましたが、
顕彰方法の見直しに伴い、本試験より贈呈を終了いたします。
何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

〔隸書〕 楊峴【隸書老子語摺扇】

是以欲上民必以言
下之欲先民必以行

辻 敬 齋 臨

◎釈文 是以欲上民。必以言下之。欲先民。必

〔筆・敬仁文會(三八五〇円)使用〕

〔楷書〕 李壁墓誌銘

辻 敬 齋 臨

天道茫昧靡分空傳
餘慶報善無聞

◎釈文 天道。茫昧靡分。空傳餘慶。報善無聞。

〔筆・敬仁文會(三八五〇円)使用〕

・読み 天道は茫昧にして分かるる靡し。空しく餘慶を伝え、善に報ゆるも聞く無し。

作品の左側に所属・段級・姓号を鉛筆で書いて下さい。

〔行草書〕

錢起句

長樂鐘聲花外盡

龍池柳色雨中深

辻

敬齋書



◎ 釈文

長樂の鐘聲

花外に尽き

龍池の柳色

雨中に深し

・ 解

長樂宮の鐘の音は花の彼方に消えてゆき、龍池のほとりの柳の色も雨にあたってより深みを帯びている。

〔筆・古義（三八五〇円）使用〕

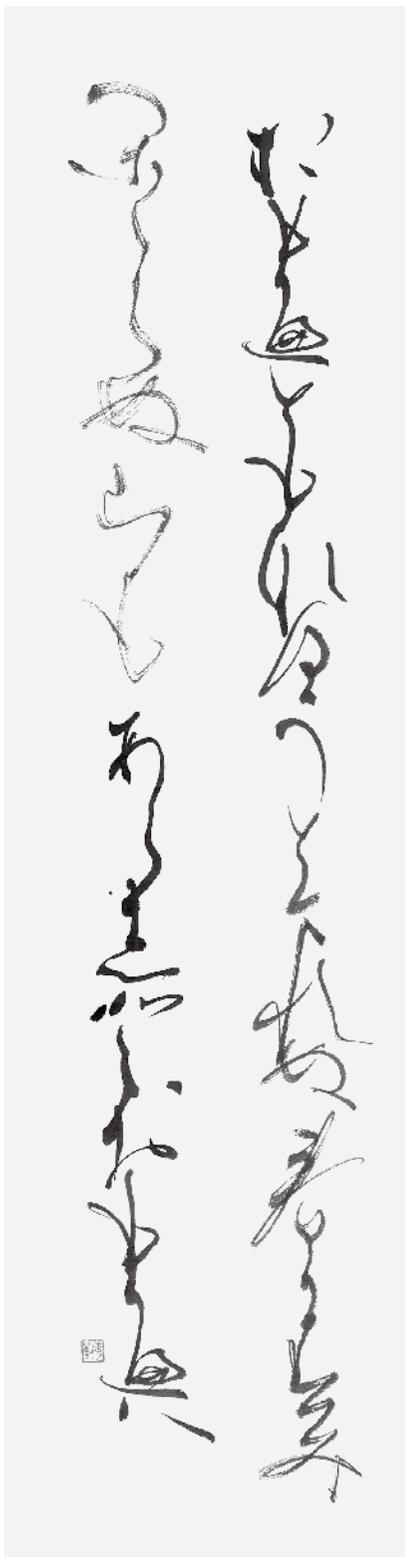
〔かな条幅部課題〕

詠み人知らず

日展準会員

岩井

秀樹先生書



◎ 釈文

おもへどもなほうとまれぬ春かすみからぬ山もあらじとおもへば

・ 歌意

私はあの人のことを思っているけれども、やはり自然に疎遠になってしまう。春霞がかからぬ山のないように、どの人にも関係すると思っ

作品の左側に所属・段級・姓号を鉛筆で書いて下さい。

【作品送付の際のお願い】 事務所へ作品送付の際は、必ず封筒に「○月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。御協力の程をお願いいたします。

規定部

①

九成宮醴泉銘

109

欧陽詢

辻

敬齋臨

若鏡味
如

若鏡味
如

・ 釈文 「若鏡。味甘如」
◎ 読み 鏡ことの若ごとく、味甘こときこと(醴たいの)如ごとし。

— 師範から準初段まで —

● 3月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を（楷書で）書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

規定部

②

包荒用馮河

辻

敬齋書



◎ 釈文
包荒馮河ほうこうひょうが ようがに用す
・ 解 広い心で荒れた状態や過ちを包容し、困難や危険な状態でも恐れず果敢に実行する。



条幅参考

— 1級から10級まで —

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

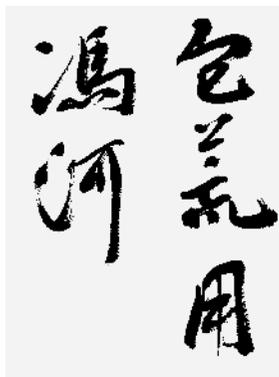
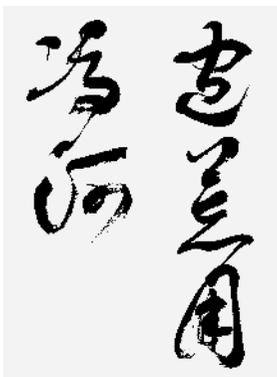
● 3月25日締切（事務所必着）

（注）下記の隷書、行書、草書を出品する場合は「文華随意」の付せんを使用してください。

草書

行書

隷書



随意部参考（随意付箋使用）



・ 釈文 「現常之世。民」
◎ 読み 現常の世、民

● 3月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を行書で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

臨書部

十七帖 (3) 王羲之

辻敬齋臨

逸民之懷久

逸民之懷久

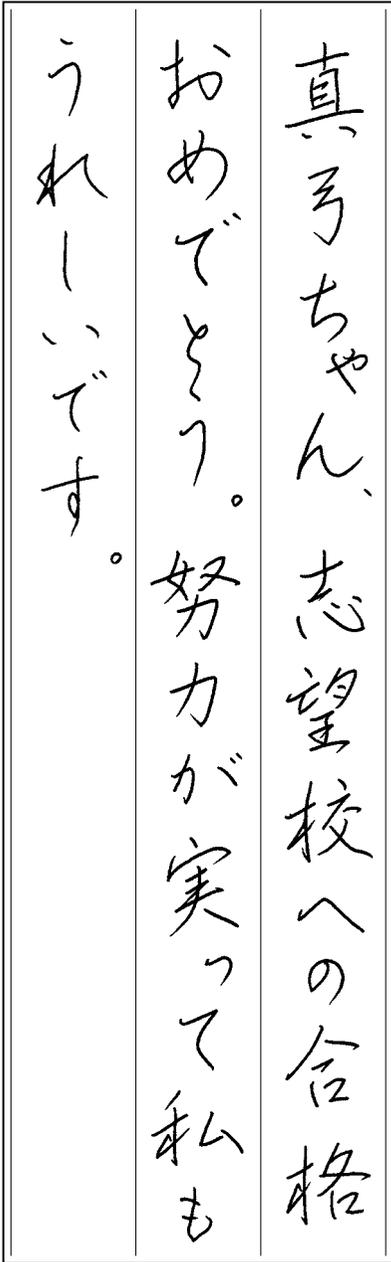
・釈文 「逸民之懷久」
◎読み 逸民の懐いを(為すこと)久し

● 3月25日締切 (事務所必着)

4、5日早目にお送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を草書で書いて下さい。(号だけでは審査減点)

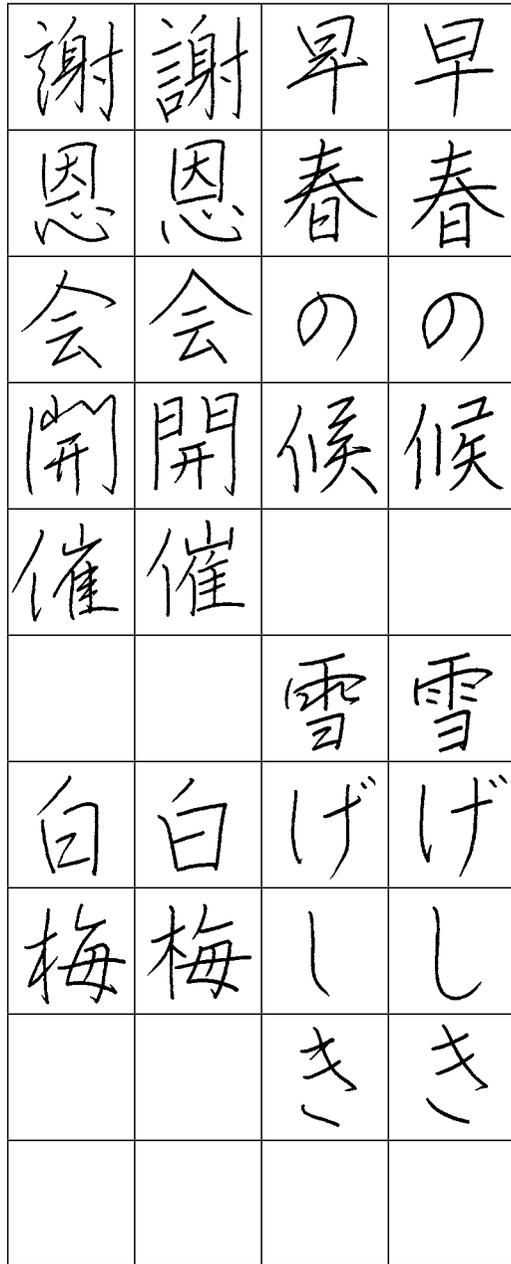
ペン字部

< 随意部 >



(手本は130%に拡大すると用紙の大きさになります)

< 規定部 >



(手本は128%に拡大すると用紙の大きさになります)

ペン字部(規定部)と(随意部)は同一段級となります。
作品の段級は、段位は「漢数字」、級位は「算用数字」で書いてください。

辻 いづみ書

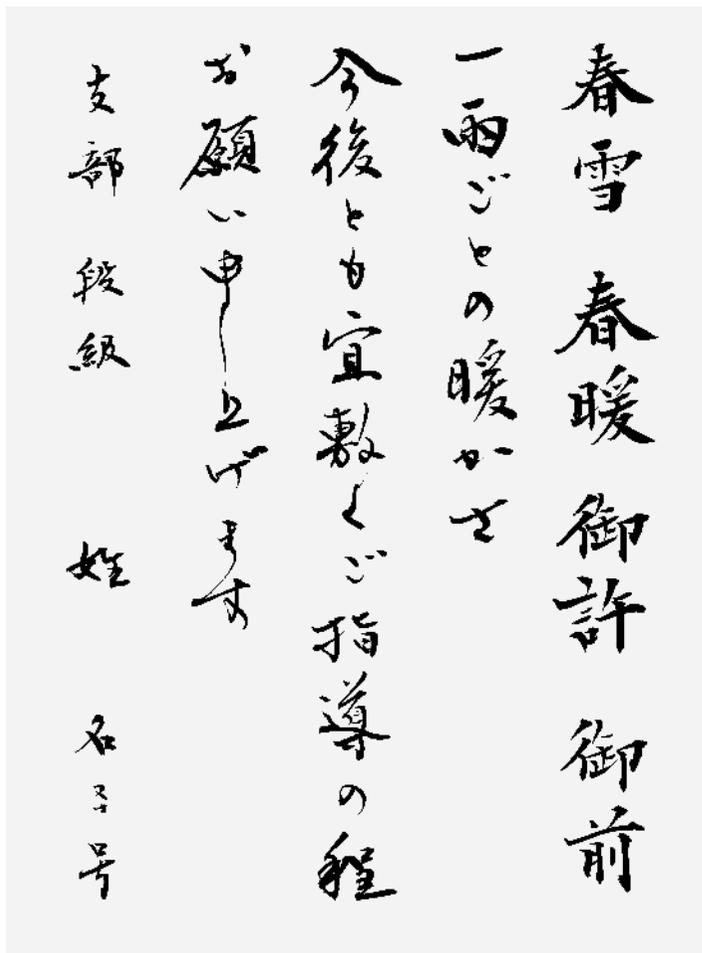
● 3月25日締切 (事務所必着)

4、5日早目に御送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)

※検定用紙、規定はマス型、随意は3行型検定用紙を使用して下さい。検定用紙(50枚230円・送料別)は事務所までご請求下さい。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

実用書部



辻 敬 齋 書

※用紙 半紙タテ書（普通半紙を使用のこと）

●3月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。

（実用書部は規定部と別ですので、
独自の段級を書いて下さい。）

作品の段級は、段位は「漢数字」、
級位は「算用数字」で書いてください。

◎ 釈文 嚴佛土不不也世尊何以故莊嚴佛土者則非莊嚴

嚴佛土不不也世尊何以
故莊嚴佛土者則非莊嚴

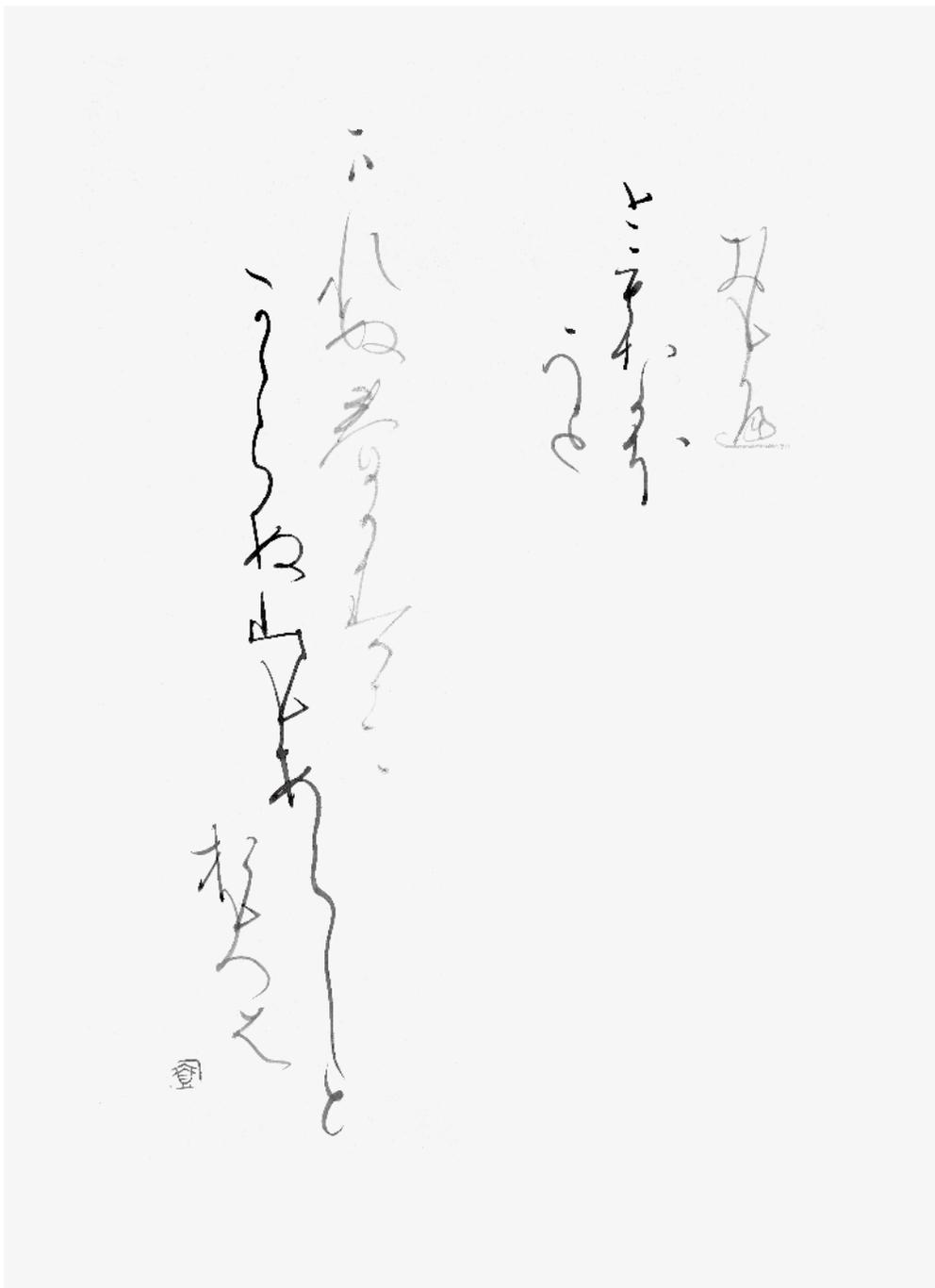
細字部

〔楷書〕張即之 金剛般若經

●3月25日締切（事務所必着）

半紙タテ ½

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は
氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を（楷
書で）書いて下さい。（号だけでは審査減点）



◎ 積文

おもへども遍なほうとまれぬ春可かすみかからぬ山於もあらしとおもへば者
・ 歌意 私はある人のことを思っているけれども、やはり自然に疎遠になってしまふ。春霞がかからぬ山のないように、
どの人にも関係すると思っている。

● 3月25日締切（事務所必着）

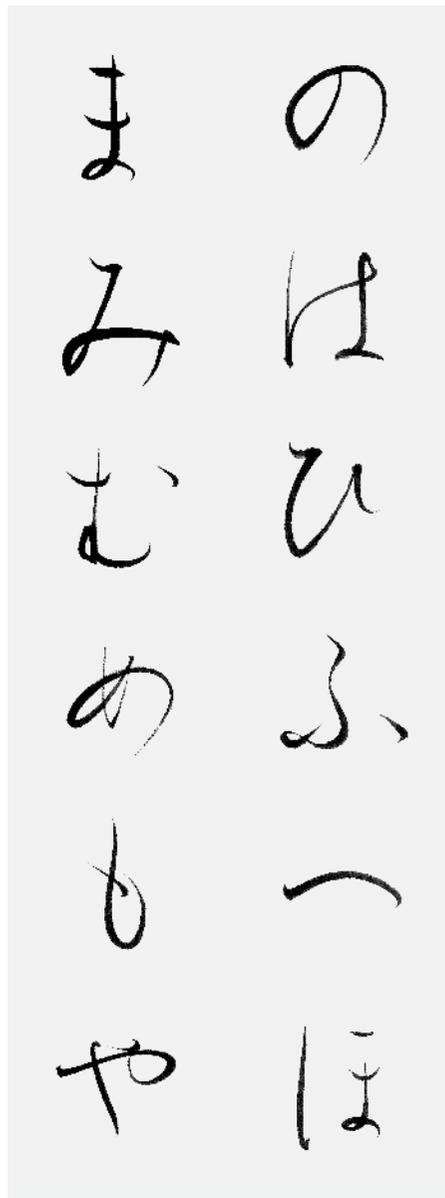
4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を鉛筆で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

かな部課題

◎ 积文のはひふへほ まみむめも や



かな部

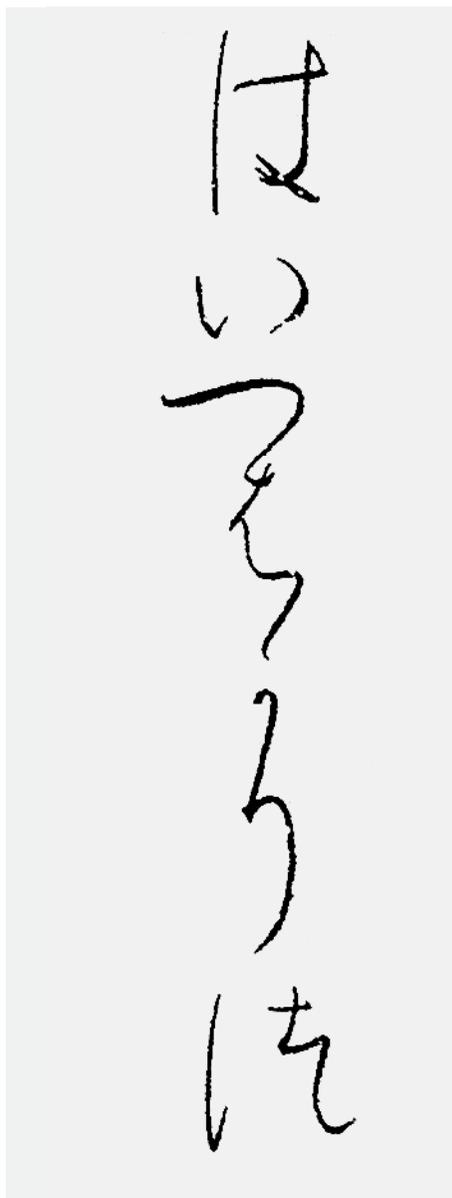
③

— 一級〜十級まで — (半紙縦1/2)

辻

敬齋書

◎ 积文 はいっば^者かりつ^徒



かな部

② 高野切第三種

— 三段から準初段まで — (半紙縦1/2)

● 3月25日締切 (事務所必着)

4、5日早目にお送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)

かなの段級は漢字の段級とは異なりますのでご注意ください。

半紙作品の左側に所属、段級、姓号または姓名を鉛筆で書いて下さい。(号だけでは審査減点)

コピー手本 (規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット) ご希望の方は350円で御送りします。

作品の段級は、「漢数字」、
 級位は「算用数字」で書いてください。

学 生 部 硬 筆 課 題

小学4年

水は温度が変わると、水
 じょう気や氷にすがたを変
 える。不思議だな。

小学5年

一輪車に乗る練習をした。
 何回も転んだけれど、やっと
 乗れるようになった。

小学6年

卒業文集ができました。
 一人ひとりの将来への夢と
 希望が詰まった一冊です。

中学1年

読書は、集中力が身に付く
 ので、私は毎月本を読むこ
 とを目標にしている。

中学2・3年

フットボールの開幕戦を観戦す
 るために球場を訪れた。応援
 席では声援が送られている。

辻 いづみ書

かつい、伊澤清玲先生が「歴史の流れを把握
 して書ける」により、さらに古典の名語の理解
 を深める「いかに読む」とおっしゃっています。
 中国普通建設路年表に掲載いたしますので、
 参考としてください。

年代	1000前	500前	前	200前	紀元前	紀元後	100	200	300
時代	西周	春秋・戦国	秦	前漢	新	後漢	魏・呉・蜀	西晋	東晋
									五胡十六国

- 3月25日締切 (事務所必着) 4、5日早目に御送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)
- ※ 検定用紙を使用して下さい。検定用紙 (50枚 230円・送料別) は事務所までご請求下さい。
- 段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○または昇格試験によっての昇段となります。

中 学 1 年

中 学 2 ・ 3 年



(夜桜見物) 辻 敬齋 書

小 学 5 年



(創意と工夫) 辻 敬齋 書

小 学 6 年



(成功失敗) 岡田 貴桜先生書



(卒業写真) 小玉 幸桜先生書

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。
○段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○、◎または昇格試験によつての昇段となります。
○作品には必ず所属、段級、氏名をはっきり書いて下さい。

● 3月25日締切 (事務所必着)
4、5日早目に御送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)

1000

900

800

五 代 十 国

唐

3 月 学 生 部 課 題

作品の段級は、段位は「漢数字」、
級位は「算用数字」で書いてください。

小 学 3 年

小 学 4 年

※段級における「準」を書くことが難しい場合は、「じゅん」または「じ」として下さい。(例 じゅん五、じ五)
○作品には必ず所属、段級、氏名をはっきり書いて下さい。



(^ぎ玉 ^ねぎ) 石井 春秀先生 書



(^水谷 ^音水 ^川音) 岩田 紀風先生書

幼 年

小 学 1 年

小 学 2 年



(う め)

辻 いづみ 書



(は と)

日比野妃扇先生 書



(す なお)

川口 麗洋先生 書

【作品送付の際のお願い】 事務所へ作品送付の際は、必ず封筒に「○月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。御協力の程をお願いいたします。

● 3月25日締切（事務所必着）

4、5日早目に御送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)

	1900	1800	1700	1600	1500	1400	1300	1200	1100
中華人民共和国 (台湾)	吳昌碩	清	鄧石如	王鐸	明	元		宋	米芾

成家作品

舍香畫水間青瑣
視羊豔幽濕紫泥

松浦 翠榮

橋愛羅柳水陸甲
遺規田十敷畧曉

中山 白堂

強比蜀江口程於只方
有法分能不失以寺寺表此

石井 春秀

梅花始近宜才近雁桃
葉波平水渡江

栗山 谿邑

南京以上曲多未嘗淺又以明曲劍水遙
逸又自來南京以上方有水頭以曲折乃
能到而下則無水強此理是吾作者也

榛澤 雅芳

清咳數聲松六鶴寒
光一點竹間燈

景山 翠珠

自非後
世可企

石井 春秀

迴雪盡
而望

中村 曉雲

一筆の
筋も
いふ
こと

榛澤 雅芳

代至天乃備聖人不
世期五百載三

辻 いづみ

我々も衣を脱ぎて
いふこと

竹内 一

昔麻舟も備留院書
舟支指為和山と華山

今橋 知鄒

洛陽才
銅街

辻 いづみ

竹内 一

竹内 一

田車
今橋 知鄒

今橋 知鄒

教範作品

久乘塵滓与弥为同
 寵一合清齋与時祥

日下 禮子

延竹鐘聲出隱人海上
 沐洞寺後塔東

袖山 真翠

天機中為人難佛狂婦
 龍坤莽秋望色香黍

山中 京翠

白雪南宮山人未伸狂枝
 蒼蒼門三處身自中飛塵

真栄城芳紅

目諫台坐

日下 禮子

以薄官
 遷右

袖山 真翠

永巨書
 永壽三

山中 京翠

昔人興
 感之

真栄城芳紅

喜咲且語不能掩口
 官爵並且慶賀

岡田 貴桜

士泛海客游甚衆亦門
 館者常十禁寺院

千葉 春苑

池空新草為
 正符也若白葉收人象

豊崎 峰彩

あきまたかみはゆるしふらけ
 ちつとわささるふふあしをれ

佐藤 祥玉

有あ東
 和之

岡田 貴桜

龜鶴年
 壽齊

千葉 春苑

撰書脩
 定禮義

豊崎 峰彩

あきまたかみはゆるしふらけ
 ちつとわささるふふあしをれ

佐藤 祥玉

参与作品

形見は酒に残らん春日花夏
 月よさす秋はもみし葉

赤嶺 心峰

魏故中書令祕書監
 使持節督雍州諸軍

福原 瑞堂

善而成善況乎人
 倫有識不緣慶而
 求慶方真茲經流
 施將日月而無窮
 願成此業方 中書令 瑞堂

赤嶺 心峰

妙樂自在之處

福原 瑞堂

参事作品

透藏精阜厚憐憐
 偏爾零糝樞思機

益子 睦架

うらわらしく代もよる人な物も我らの
 ちつとわささるふふあしをれ

貝沼 春翠

得龍
 昇念

益子 睦架

あきまたかみはゆるしふらけ
 ちつとわささるふふあしをれ

貝沼 春翠

本會同人条幅・半紙参考作品

喜咲且語不能掩口
官爵並美慶賀

小古瀨修山

常祠曾掾馮牟史郭
宮辭對故未行

佐藤 蒼流

善慶尺璧非寶寸陰是競
善慶尺璧非寶寸陰是競

川越 翠蓉

浦邊之陣り來り雪の白波の
末の松山越水の七文鳥

大津 桂風

能仰文風流儒雅海内
知名代異時移

儀保 芳嶽

静を殺るる下中宮局
四月友田園味遊竹物

桑原 令慧

承以石
檻引

岩田 紀風

卓如東
和之

小古瀨修山

釋業
臣也

佐藤 蒼流

勳賞延
金石而

川越 翠蓉

此昇
此用

大津 桂風

心若
心如

儀保 芳嶽

儻業
儻言

桑原 令慧

梅花踏雪宜逢雪
兼波年好渡江

八文字聖媛

梅花踏雪宜逢雪
兼波年好渡江

渡部 翔風

還鄉物情寄附賓友
生光綺轉大乘

川口 麗洋

喜咲且語不能掩口
官爵並美慶賀

山田 安里

曹景完易世載德不
隕其名及其從

小林 瑞幸

雲南果出月泉里
月泉里果出雲南

岡山 素洞

來王
來王

八文字聖媛

卓如東
和之

渡部 翔風

天寒月
天寒月

川口 麗洋

明成
明成

山田 安里

之時
之時

小林 瑞幸

中
中

岡山 素洞

之時
之時

小玉 幸桜

本會審查會員 条幅・半紙作品

梅花路近宜逢雪
桃葉波平好渡江

竹島 清翠

梅花路近宜逢雪
桃葉波平好渡江

清水 誠喜

梅花路近宜逢雪
桃葉波平好渡江

塩原 正裕

梅花路近宜逢雪
桃葉波平好渡江

小室 陽江

還鄉物情聳附賓友
生光騎擊大乘

大森 清香

不憚の心は道の邊りまで
はるかに春を待つ心也

富田 晶湖

梅花路近宜逢雪
桃葉波平好渡江

渡部 雲泉

閑齋
或

森 聖燦

檻引
承以石

竹島 清翠

和之
未馳

清水 誠喜

天寒月
更霜

塩原 正裕

未馳
之時言

小室 陽江

群雲
洗濯此

大森 清香

集興於
終次況

土田 美翠

圓如一
相

富田 晶湖

圓如一
相

渡部 雲泉

喜咲且語不能掩口
官爵並美慶賀

平山 里彩

還鄉物情聳附賓友
生光騎擊大乘

鈴木 申弥

梅花路近宜逢雪
桃葉波平好渡江

江幡 里奈

梅花路近宜逢雪
桃葉波平好渡江

田村 清華

象封祿處以爲年
月堪老壽原一掃

貴島 旭翠

梅花路近宜逢雪
桃葉波平好渡江

森田 幸玉

梅花路近宜逢雪
桃葉波平好渡江

熊田 由翠

梅花路近宜逢雪
桃葉波平好渡江

森 聖燦

閑齋
或

平山 里彩

未馳
之時言

鈴木 申弥

檻引
承以石

江幡 里奈

檻引
承以石

田村 清華

檻引
承以石

森田 幸玉

時看好
花懶傾

貴島 旭翠

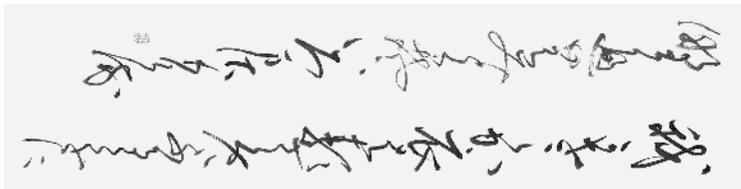
後九十
日晝夜

熊田 由翠

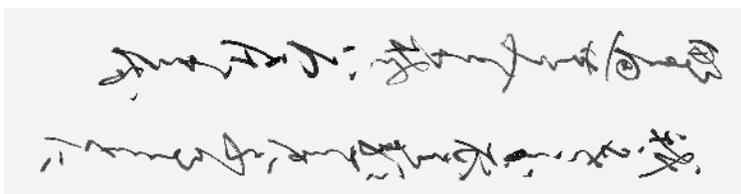
眞天
眞地

近藤 朋齋

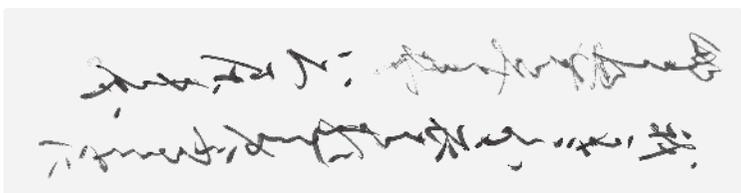
特



(師範) 林 泰邦
線が強く、余計な部分もそぎ落とした
無駄のないスクリとした作といえ
るか。



(師範) 赤嶺 心峰
行間を広くとって、文字自体のふと
ろも広くしたことで、余裕のあるス
ケールの広さを感じる作となった。



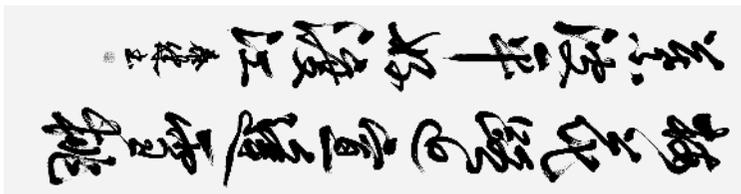
(師範) 平野 由美
二行目上部の变化ある渴筆が圧巻。行
間美しく通って爽快。今月出品中の白
眉。



(師範) 岡野 春麗
丁寧な筆致で安定した作。公募展にも
意欲的に挑戦している成果か。



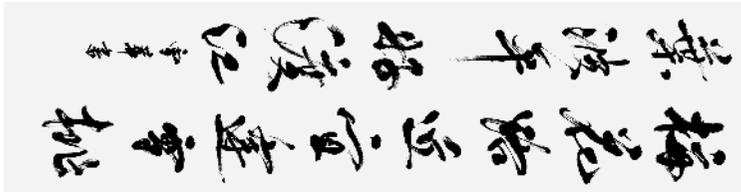
(師範) 松村千恵子
線質はキレがあつて申し分ないが、
「光」を小さくするなど文字の大きき
に注意すると更に良くなる。



(師範) 林 泰健
一気呵成に自在に書かれた作。起筆に
強きがあつて作品にインパクトが生じ
ている。



(師範) 倉田 昌和
整然と美しく文字が配置され、しつ
かりとした筆法とともに良い作品となっ
ている。



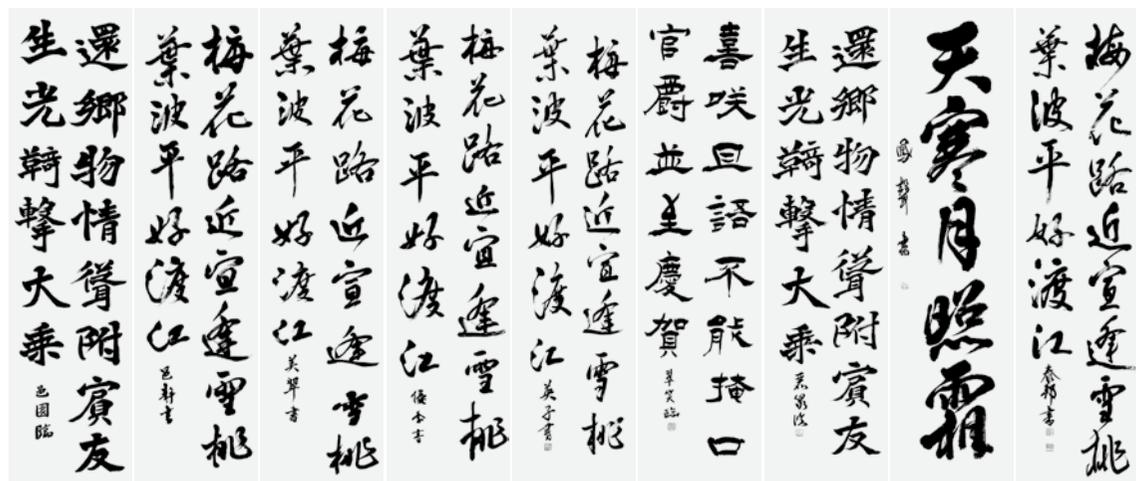
(師範) 根本 雪華
線に複雑な変化があつて面白い作品。
墨の量は「波」「好」にもう少しあつ
てよい。

選

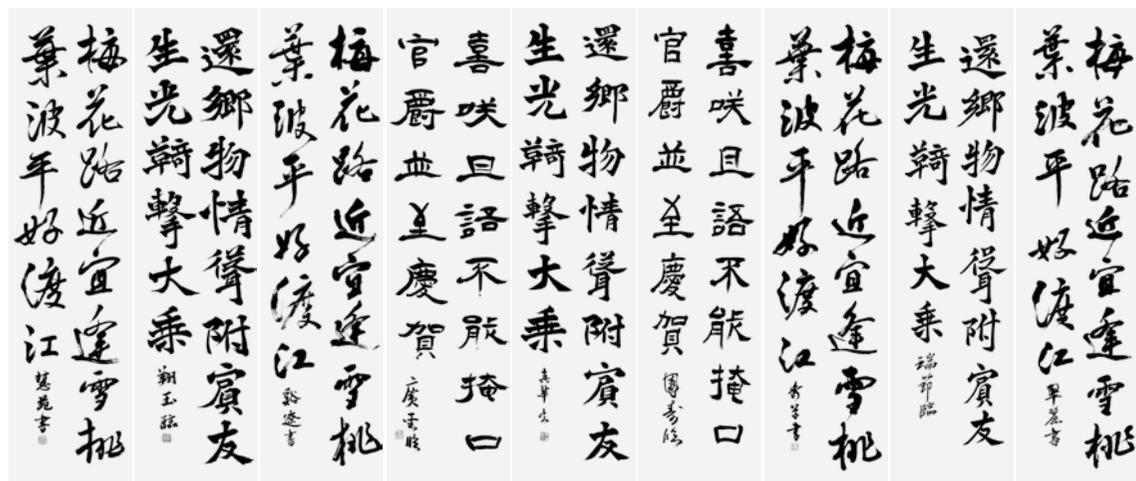
《条幅部・創作条幅1/2》

辻 敬齋 寸評

第862回 条幅部当選作品



(師範) 藤浦 邑園 (師範) 岩永 邑静 (師範) 花輪 美翠 (師範) 三留 優季 (師範) 島尻 英子 (師範) 深田 翠笑 (師範) 西岡 麗泉 (師範) 長谷川 鳳声 (師範) 林 泰邦



(師範) 林 慧苑 (師範) 齋藤 翔玉 (師範) 小澤 谿遼 (師範) 瀧澤 廣聖 (師範) 澤畑 真華 (師範) 山里 園枝 (師範) 加藤 秀草 (師範) 宮里 瑞節 (師範) 永田 翠麗



(八段) 倉田 信夫 (八段) 神谷 武史 (八段) 西野 侑里 (八段) 佐藤 晴美 (師格) 石原 光珠 (師格) 比屋定輝子 (師格) 鈴木真佐子 (師範) 玉寄 芳志 (師範) 杉村万里子

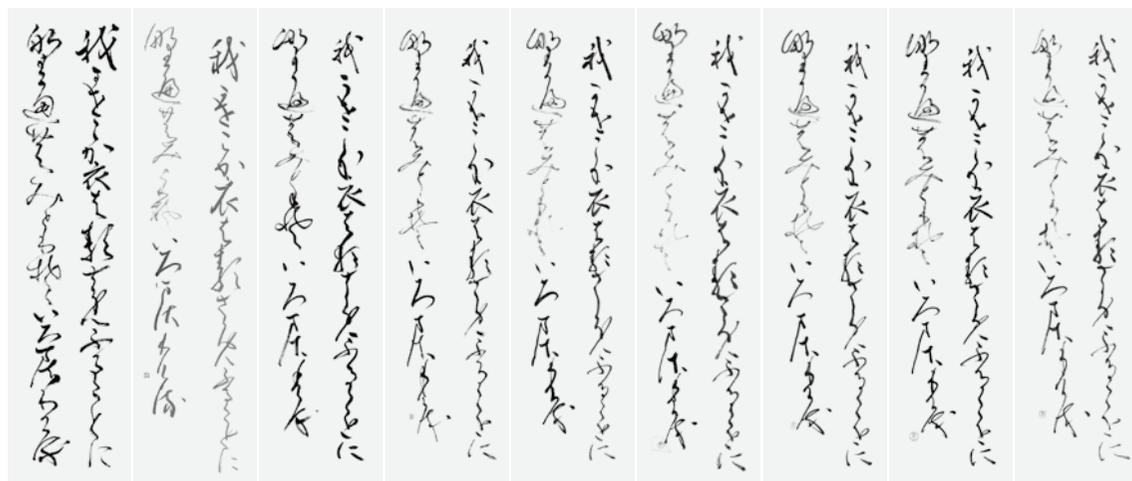
第862回 条幅部当選作品



(2級) 丹羽 琉花
 (準初) 照屋 寛由
 (初段) 原田 厚子
 (初段) 安村 泰愷
 (初段) 金子 泰華
 (三段) 大蔵 貴子
 (五段) 半村 啓子
 (五段) 二村 泉華
 (七段) 佐藤 翠瑛



(八段) 中川 優子
 (準師) 阿部 誠子
 (準師) 岡田 貴桜
 (師格) 島尻 英子
 (師格) 鈴木真佐子
 (師範) 杉村万里子
 (師範) 佐野 麦静
 (師範) 林 泰健
 (師範) 松村千恵子



(準初) 今若 佳美
 (準四) 金子 泰華
 (四段) 瀧澤 廣聖
 (四段) 西村さつき
 (五段) 坂本 由美
 (六段) 小倉 敦子
 (七段) 縣 礼子
 (七段) 本城 吉子
 (七段) 野崎 優子

〔かな部〕

特

選

白山
準師範
新井悟美

檻承引以石

芦花
師格
林泰裕

檻承引以石

淡風
師
山内泉心

檻承引以石

芦花
師
林泰健

檻承引以石

謹賀新年 賀正 迎春
寒気のことあけが蘇しい折
末筆ながら皆様のご健康と
心からお祈り申し上げます
彩虹師範 哉日翠波

仁味
純惠

之時
之

聖心師格 葛野宏成

未馳
之時
之

仁千師
鈴木揚寿

未馳
之時
之

(準師)新井 悟美
(師範)武田 翠波

(師格)林 泰裕
(八段)川口 純惠

(師範)山内 泉心
(師格)葛野 宏成

(師範)林 泰健
(師範)鈴木 揚寿

謹賀新年 賀正 迎春
寒気のことあけが蘇しい折
末筆ながら皆様のご健康と
心からお祈り申し上げます
香春 師 坂上東鴻

お七七長長小浮奈々海

之
之

ふみいれ 武藤清華

之
之

聖心師 経塚多慈子

之
之

然燈佛所於法實無所得
須菩提於意云何菩薩莊
全真 師 大津桂風
然燈佛所於法實無所得
須菩提於意云何菩薩莊
蒙筆師格 香川翠櫻

あいうえおか
きくけこせし

わって...
わって...
わって...

わって...
わって...
わって...

(師範)坂上 東鴻
(師格)香川翠櫻 (師範)大津桂風

(七段)小澤奈々海
(3級)鈴木中弥 (二段)原 聖麗

(八段)武藤 清華
(七段)縣 礼子

(師範)経塚多慈子
(師範)松村千恵子

秀

作

〈規定部〉

一乃會 師 林 宗弘 檻 承 引 以 石	一乃會 師 井原 娟祥 檻 承 引 以 石	一乃會 師 西岡 麗泉 檻 承 引 以 石	筆泉 師 倉田 邑和 檻 承 引 以 石	聖心 師 経塚 多慈子 檻 承 引 以 石	仁 千師 鈴木 楊芽 檻 承 引 以 石
-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

筆泉 師 鈴木 真佐子 檻 承 引 以 石	如扇 師 杉村 万里子 檻 承 引 以 石	金 師 永田 翠麗 檻 承 引 以 石	春本 師 坂上 東鴻 檻 承 引 以 石	藤 師 香川 翠櫻 檻 承 引 以 石	北斗 師 岡野 春麗 檻 承 引 以 石
--------------------------------	--------------------------------	------------------------------	-------------------------------	------------------------------	-------------------------------

北斗 八 佐藤 晴美 檻 承 引 以 石	美玉 八段 鈴木 業緒 檻 承 引 以 石	八木 溝口 祐 檻 承 引 以 石	聖心 準師 大乗 文孝 檻 承 引 以 石	聖心 師 葛野 宏成 檻 承 引 以 石	東 師 樽見 正庫 檻 承 引 以 石
-------------------------------	--------------------------------	----------------------------	--------------------------------	-------------------------------	------------------------------

(師範) 林 宗弘 (師格) 鈴木 真佐子 (八段) 佐藤 晴美	(師範) 井原 娟祥 (師範) 杉村 万里子 (八段) 鈴木 業緒	(師範) 西岡 麗泉 (師範) 永田 翠麗 (八段) 溝口 祐	(師範) 倉田 邑和 (師範) 坂上 東鴻 (準師) 大乗 文孝	(師範) 経塚 多慈子 (師範) 香川 翠櫻 (師格) 葛野 宏成	(師範) 鈴木 楊芽 (師範) 岡野 春麗 (師格) 樽見 正庫
--	---	---------------------------------------	--	---	--

仁 川 純 惠 檻 承 引 以 石	八段 武藤 清華 檻 承 引 以 石	八段 白土 礼子 檻 承 引 以 石	南部 八段 神谷 武史 檻 承 引 以 石	和心 八段 瀬谷 綾音 檻 承 引 以 石	聖心 八段 山崎 みな子 檻 承 引 以 石
----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

文真 五段 半村 啓子 檻 承 引 以 石	六段 中山 忠子 檻 承 引 以 石	美玉 六段 西山 海羅 檻 承 引 以 石	芦花 七段 林 泰聖 檻 承 引 以 石	筆泉 七段 佐藤 翠瑛 檻 承 引 以 石	北斗 七段 小澤 奈々海 檻 承 引 以 石
--------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

筑波 四段 久長 順子 檻 承 引 以 石	北斗 四段 中村 恭代 檻 承 引 以 石	葵陵 準五下 和田 陽育 檻 承 引 以 石	筆泉 五段 福田 隆代 檻 承 引 以 石	白山 五段 西本 睦 檻 承 引 以 石	筆泉 五段 相澤 美紀 檻 承 引 以 石
--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

(八段) 川口 純惠 (五段) 半村 啓子 (四段) 久長 順子	(八段) 武藤 清華 (六段) 中山 忠子 (四段) 中村 恭代	(八段) 白土 礼子 (六段) 西山 海羅 (準五) 下和田 陽育	(八段) 神谷 武史 (七段) 林 泰聖 (五段) 福田 隆代	(八段) 瀬谷 綾音 (七段) 佐藤 翠瑛 (五段) 西本 睦	(八段) 山崎 みな子 (七段) 小澤 奈々海 (五段) 相澤 美紀
--	--	---	---------------------------------------	---------------------------------------	--

秀

作

〈規定部〉

<p>聖心 三段 伊藤淳子</p> <p>檻承引以石</p>	<p>いんが 佐々木陽由</p> <p>檻承引以石</p>	<p>瑞東 三段 渡辺時子</p> <p>檻承引以石</p>	<p>葵陵 三段 佐原叶歩</p> <p>檻承引以石</p>	<p>狭津 四段 盛山和花</p> <p>檻承引以石</p>	<p>廣明 四段 中山そら</p> <p>檻承引以石</p>
<p>葵陵 二段 荻沼真央</p> <p>檻承引以石</p>	<p>ボロン 準三段 鈴木玲子</p> <p>檻承引以石</p>	<p>葵陵 準三段 岡本結愛</p> <p>檻承引以石</p>	<p>葵陵 準三段 寺門琉菜</p> <p>檻承引以石</p>	<p>如扇 三段 大蔵貴子</p> <p>檻承引以石</p>	<p>狭三 鈴木理央</p> <p>檻承引以石</p>
<p>いんが 二段 塩畑あさ子</p> <p>檻承引以石</p>	<p>廣明 二段 柳橋幸果</p> <p>檻承引以石</p>	<p>美玉 二段 小川襟花</p> <p>檻承引以石</p>	<p>葵陵 二段 吹野心優</p> <p>檻承引以石</p>	<p>仁二 鈴木琴彩</p> <p>檻承引以石</p>	<p>いづみ 二段 酒井喜美代</p> <p>檻承引以石</p>
<p>(三段)伊藤 淳子 (二段)荻沼 真央 (二段)塩畑あさ子</p>	<p>(三段)佐々木陽由 (準三)鈴木 玲子 (二段)柳橋 幸果</p>	<p>(三段)渡辺 時子 (準三)岡本 結愛 (二段)小川 襟花</p>	<p>(三段)佐原 叶歩 (準三)寺門 琉菜 (二段)吹野 心優</p>	<p>(準四)盛山 和花 (三段)大蔵 貴子 (二段)鈴木 琴彩</p>	<p>(四段)中山 そら (三段)鈴木 理央 (二段)酒井喜美代</p>
<p>長次 初段 高橋道子</p> <p>檻承引以石</p>	<p>葵陵 初段 高久有愛</p> <p>檻承引以石</p>	<p>葵陵 初段 小松崎凜菜</p> <p>檻承引以石</p>	<p>葵陵 初段 稲山彩音</p> <p>檻承引以石</p>	<p>葵陵 準二段 大森夕愛</p> <p>檻承引以石</p>	<p>狭二 鈴木琉未</p> <p>檻承引以石</p>
<p>いづみ 初段 工藤幹子</p> <p>檻承引以石</p>	<p>如扇 初段 村上約香</p> <p>檻承引以石</p>	<p>ボロン 初段 荒川公男</p> <p>檻承引以石</p>	<p>いづみ 初段 青木和子</p> <p>檻承引以石</p>	<p>金初 初段 瀧口浩子</p> <p>檻承引以石</p>	<p>東海 初段 親見由希</p> <p>檻承引以石</p>
<p>聖心 新入 小堺紀子</p> <p>照天寒月</p>	<p>金九 級 岡田明子</p> <p>照天寒月</p>	<p>翔風 八級 渡辺華世子</p> <p>照天寒月</p>	<p>仁千 六 長友節子</p> <p>照天寒月</p>	<p>光明 四級 出居葵葉</p> <p>照天寒月</p>	<p>いづみ 小澤由季</p> <p>檻承引以石</p>
<p>(初段)高橋 道子 (初段)工藤 幹子 (新入)小堺 紀子</p>	<p>(初段)高久 有愛 (初段)村上 約香 (8級)岡田 明子</p>	<p>(初段)小松崎凜菜 (初段)荒川 公男 (7級)渡辺華世子</p>	<p>(初段)稲山 彩音 (初段)青木 和子 (5級)長友 節子</p>	<p>(準二)大森 夕愛 (初段)瀧口 浩子 (2級)出居 葵葉</p>	<p>(二段)鈴木 琉未 (初段)親見 由希 (準初)小澤 由季</p>

秀

作

〈随意部〉



(師範)松村千恵子 (師範)加藤 寿泉 (師範)岡野 春麗 (師範)倉田 邑和 (師範)田河 勝景 (師範)遊佐 礼子
 (八段)武藤 清華 (準師)新井 悟美 (師格)石原 光珠 (師格)鈴木真佐子 (師範)長谷川風声 (師範)齋藤 翔玉
 (五段)神谷 節子 (五段)栗原 一美 (五段)相澤 美紀 (六段)鈴木 千智 (七段)久保田大貴 (七段)栗原 琉花



(師範)松村千恵子 (師範)加藤 寿泉 (師範)岡野 春麗 (師範)倉田 邑和 (師範)田河 勝景 (師範)遊佐 礼子
 (八段)武藤 清華 (準師)新井 悟美 (師格)石原 光珠 (師格)鈴木真佐子 (師範)長谷川風声 (師範)齋藤 翔玉
 (五段)神谷 節子 (五段)栗原 一美 (五段)相澤 美紀 (六段)鈴木 千智 (七段)久保田大貴 (七段)栗原 琉花

秀

作

〔臨書部〕



(師範)花園 清遠 (師範)永田 翠麗 (師範)小澤 谿遼 (師範)加藤 寿泉 (師範)坂上 東鴻 (師範)二藤 淑瑛
 (五段)相澤 美紀 (六段)志田 房步 (七段)津守 悠澄 (八段)西野 恭代 (準師)新井 悟美 (師格)長山 真睦
 (三段)伊藤 淳子 (三段)佐原 叶歩 (四段)大村 夏澄 (四段)中村 恭代 (準五)下和田 陽育 (五段)西本 睦

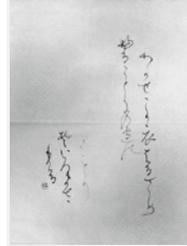
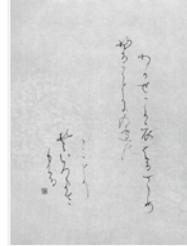
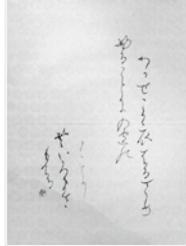
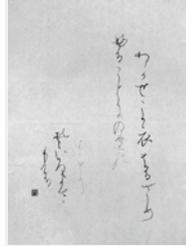
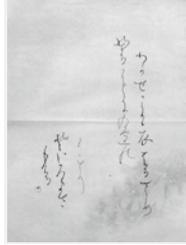
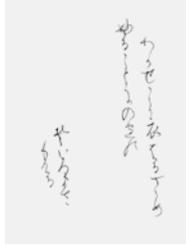
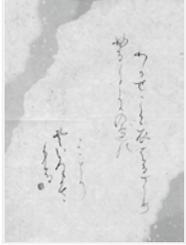
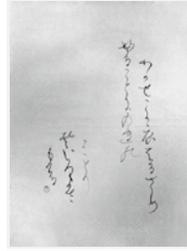
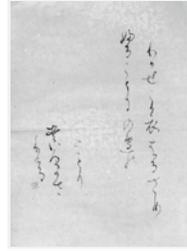
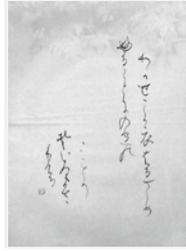


(二段)酒井喜美代 (二段)海老澤 優菜 (二段)荻沼 真央 (準三)鈴木 玲子 (準三)岡本 結愛
 (初段)小松崎 凛菜 (初段)稲山 彩音 (初段)高久 有愛 (準二)大森 夕愛 (二段)塩畑 あさ子
 (七級)渡辺 華世子 (二級)中村 伸行 (準初)竹谷 秀基 (初段)工藤 菜子 (初段)青木 和子
 (初段)寺門 琉菜 (二段)柳橋 幸果 (初段)高橋 道子

秀

作

〈仮名部・創作部〉



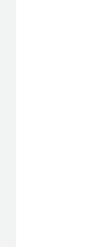
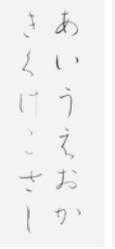
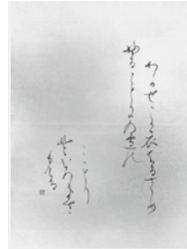
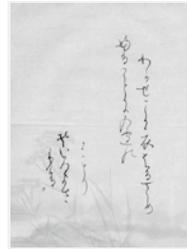
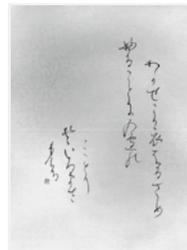
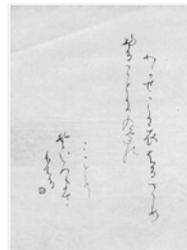
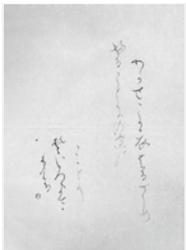
(師範)岩永 昌静
(八段)中川 優子
(五段)天河ふさ子

(師範)森 聖燦
(八段)小林 瑞幸
(五段)坂本 由美

(師範)平野 由美
(準師)阿部 誠子
(六段)小倉 敦子

(師範)真栄城芳紅
(師格)戸枝 丈子
(七段)本城 吉子

(師範)遊佐 礼子
(師範)高島 清順
(七段)勝野 玲子



(四段)西村 さつき
(初段)岡野 春麗
(10級)木庭 真紀

(四段)武村 泰代
(初段)二村 泉華
(4級)小泉 葉子

(準五)平山 里彩
(三段)八文字聖媛
(準初)岩田 眞仙

(五段)久慈さゆき
(準四)藤原美也子
(準初)芹澤 彩光

(五段)博多 晃子
(四段)月村 澄枝
(初段)半村 啓子

(初段)林 宗弘 (二級)山本 育代 (初段)中山 恵子 (初段)萩原 晋二

秀 作

〈ペン字随意部〉

〈ペン字規定部〉

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
森山 翠萌

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
遊佐 礼子

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
花輪 美翠

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
岡田 貴桜

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
竹島 清翠

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
花輪 美翠

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
大津 桂風

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
岡田 貴桜

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
山田 安里

(師格) 杉山 翠萌

(師範) 遊佐 礼子

(師範) 花輪 美翠

(師範) 岡田 貴桜

(師格) 竹島 清翠

(師範) 花輪 美翠

(師範) 大津 桂風

(師範) 岡田 貴桜

(師範) 山田 安里

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
中山 恵子

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
奥田 朱麗

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
平山 里彩

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
川越 美穂

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
中山 恵子

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
黄 千優

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
平山 里彩

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
川越 美穂

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
杉山 翠萌

(七段) 中山 恵子

(八段) 奥田 朱麗

(八段) 平山 里彩

(準師) 川越 美穂

(七段) 中山 恵子

(八段) 黄 千優

(八段) 平山 里彩

(準師) 川越 美穂

(師格) 杉山 翠萌

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
岡田 祐弥

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
小田部 愛菜

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
八文字 聖媛

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
山村 真実

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
福田 隆代

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
鈴木 申弥

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
八文字 聖媛

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
山村 真実

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
柿沼 洋菜

(三段) 岡田 祐弥

(四段) 小田部 愛菜

(五段) 八文字 聖媛

(六段) 山村 真実

(四段) 福田 隆代

(五段) 鈴木 申弥

(五段) 八文字 聖媛

(六段) 山村 真実

(七段) 柿沼 洋菜

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
中島 綺菜

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
小森 愛海

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
酒井喜美代

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
大村 夏澄

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
西村 莉奈

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
酒井喜美代

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
長山 真

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
椎山 雅風

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
篠崎みゆき

(準二) 中島 綺菜

(二段) 小森 愛海

(二段) 酒井喜美代

(準三) 大村 夏澄

(二段) 西村 莉奈

(二段) 酒井喜美代

(準三) 長山 真

(三段) 椎山 雅風

(準四) 篠崎みゆき

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
椎名 千梢

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
小澤 由季

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
神谷 武史

長めのおやすみ明けの稽古は
新し〜スタートのように感じます
笑顔あふれる時間であるように
鈴木 理央

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
椎名 千梢

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
工藤 幹子

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
藤枝 則子

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
鈴木 理央

寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
寒中水泳 年越詣
宮崎 結羽

(1級) 椎名 千梢

(準初) 小澤 由季

(準初) 神谷 武史

(初段) 鈴木 理央

(1級) 椎名 千梢

(準初) 工藤 幹子

(初段) 藤枝 則子

(初段) 鈴木 理央

(準二) 宮崎 結羽

特 選

<p>狭津特 木橋愛南美 金澤九野崎奈央 金澤五根本莉愛</p> <p>大成願 予天気 工手芸</p>	<p>筑波特待 岡田美咲 筑波九岡野 帆乃木 紀進六 大保華</p> <p>大成願 予天気 工手芸</p>	<p>幸特高 田琴 山下準十段 榎本彩見 いづみ 鈴木彩心</p> <p>大成願 予天気 工手芸</p>	<p>いづみ 山口瑠那 榎野十 かま 立日七 荒木佳乃</p> <p>神社の 予天気 工手芸</p>	<p>登峯特待 今村文音 和心 準特 大楽芽生 筑波進九 岡田健吾</p> <p>神社の 予天気 工手芸</p>	<p>船特待 深谷桃 いづみ 準特 岡崎ゆめか いづみ 準十 飛田陽菜</p> <p>神社の 予天気 工手芸</p>
<p>(準特)本橋愛南美 (準九)野崎奈央 (準五)根本莉愛</p>	<p>(特待)岡田美咲 (九段)岡野帆乃木 (準六)大保華</p>	<p>(特待)高田琴羽 (準十)榎本彩見 (六段)鈴木彩心</p>	<p>(準特)山口瑠那 (十段)榎野十 (七段)荒木佳乃</p>	<p>(特待)今村文音 (準特)大楽芽生 (準九)岡田健吾</p>	<p>(特待)深谷桃 (準特)岡崎ゆめか (準十)飛田陽菜</p>

<p>森々 森田美穂</p> <p>山雪道の つ門ま こら</p>	<p>仁初長 澤花 甲子尋</p> <p>山雪道の つ門ま みせ</p>	<p>本林準四 鈴木遥奈 飯田芽咲 森七 岡田りほ</p> <p>山雪道の つ門ま みせ</p>	<p>森五 宮島あはば 紀三 田甲里</p> <p>山雪道の つ門ま ひはつ</p>	<p>女扇 生藤美穂 青木愛來</p> <p>山雪道の つ門ま ひはつ</p>	<p>仁進八 杉本優花 いづみ 六小野寺かれん あべこたろう</p> <p>山雪道の つ門ま ひはつ</p>
<p>(3級)森田美穂 (6級)柳田碧 (7級)井口莞太郎</p>	<p>(初段)長澤千尋 (3級)田中悠花 (準7級)宮川</p>	<p>(四段)鈴木遥奈 (準三)飯田芽咲 (準6級)岡田</p>	<p>(五段)宮島あおば (三段)田中知里 (1級)本城芽依</p>	<p>(準六)佐藤美穂 (五段)青木愛來 (準二)黒澤瑛斗</p>	<p>(準八)杉本優花 (六段)小野寺葉凜 (二段)阿部鼓太郎</p>

第862回 当選作品

<p>工手作芸 小林由莉 ゆ大越</p>	<p>工手作芸 高木光汰 ゆ如藤</p>	<p>工手作芸 西野勢乃香 早川七</p>	<p>工手作芸 小澤梨里 早川准十</p>	<p>工手作芸 和心初 丹吹良</p>	<p>工手作芸 濱野洋二 濱野旬太郎</p>	<p>工手作芸 いみ二 諏佐淳斗</p>	<p>工手作芸 范肩二 生田歩果</p>				
<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>				
<p>小林大平 由野小</p>	<p>高木光汰 光優人 光悠七</p>	<p>西野中岡 乃世華 香奈都歩</p>	<p>小澤中佐 澤野藤磯</p>	<p>梨詞凜夏 和哉凜帆</p>	<p>丹川伊清 和藤清</p>	<p>濱野小塚 野沼越萩</p>	<p>句樹谷美 太生蘭優</p>	<p>諏荻辰金 佐谷巳澤</p>	<p>湧優由紗 斗心羽耶</p>	<p>柴齋木澤 田藤村澤</p>	<p>歩憲は桃 果吾な華</p>
<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>				
<p>幸野中表和 山雪道の</p>	<p>中井藤枝 山雪道の</p>	<p>ゆ山雪道の 直六船中</p>	<p>いづみ山雪道の 笑純百代</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>	<p>山雪道の 山雪道の 山雪道の</p>				
<p>つ門ま つ門ま つ門ま</p>	<p>つ門ま つ門ま つ門ま</p>	<p>つ門ま つ門ま つ門ま</p>	<p>つ門ま つ門ま つ門ま</p>	<p>つ門ま つ門ま つ門ま</p>	<p>つ門ま つ門ま つ門ま</p>	<p>つ門ま つ門ま つ門ま</p>	<p>つ門ま つ門ま つ門ま</p>				
<p>英じ二 つ門ま</p>	<p>いわた つ門ま</p>	<p>高村ひかり つ門ま</p>	<p>細貝芳生 つ門ま</p>	<p>いづみ山雪道の 長登茶 夏成英</p>	<p>いづみ山雪道の 宮本愛実</p>	<p>いづみ山雪道の 宮本愛実</p>	<p>いづみ山雪道の 宮本愛実</p>				
<p>清水洋三 つ門ま</p>	<p>金子三 つ門ま</p>	<p>金子三 つ門ま</p>	<p>成田琴音 つ門ま</p>	<p>いづみ山雪道の 小澤良蘭</p>	<p>いづみ山雪道の 小澤良蘭</p>	<p>いづみ山雪道の 小澤良蘭</p>	<p>いづみ山雪道の 小澤良蘭</p>				
<p>いわた つ門ま</p>	<p>大越健豊 つ門ま</p>	<p>滝ひな花 つ門ま</p>	<p>早川七 つ門ま</p>	<p>いづみ山雪道の 龜井ひまり</p>	<p>いづみ山雪道の 龜井ひまり</p>	<p>いづみ山雪道の 龜井ひまり</p>	<p>いづみ山雪道の 龜井ひまり</p>				
<p>田島木田 千藍喬弥</p>	<p>晶奈五咲 野青沢大</p>	<p>和咲な豊 奏日ひ健</p>	<p>菜り乃彩 柚か菜花</p>	<p>花子蘭り 百柚良まり</p>	<p>輪根澤井 箕島小龜</p>	<p>聖葵杏希 琉夏優美</p>	<p>岡本橋井 吉宮高新</p>	<p>衣禾葵晴 優愛陽心</p>	<p>間竹勢鳥 風佐能辛</p>	<p>で朗己俐 か亮晴杏</p>	

第862回 当選作品

ひはつ ゆ 黒澤洋太郎	ひはつ 晴風三 大洲琴	ひはつ かまじりたん つこのすけ	ひはつ 清原五 一之助	つ門ま 狹津 加藤隼輔	つ門ま わか草丸 木村おと	つ門ま ようひつ 桑原うた	つ門ま 坂本風 松三
ひはつ 文4 黒岩花	ひはつ 大塚れいむ	ひはつ みまき いそゆかり	ひはつ 池田はな	ひはつ 渡辺結月	ひはつ けいこ 田じよいあり	ひはつ こじ 土肥あかり	ひはつ 早初 すずゆき
ひはつ 原がたみ	ひはつ いちじり いいたりこ	ひはつ ゆ 如藤匠郎	ひはつ こ 安部花	ひはつ 白山 木島詩	ひはつ ゆ 長谷結月	ひはつ 仁千進 金井孝穂	ひはつ えじ 多智二郎
みせ き 黒岩初 じよあかり	みせ ゆたかはし ゆうみ	みせ 倉川由朱	ひはつ ゆしん 小野夢	ひはつ ふじよ 加藤	ひはつ さ 山崎 れい	ひはつ 山口ゆう士	ひはつ 鈴木秋葉
澤井藤 黒岩原伊	葵花斗里 瑠奏朱	大塚れいむ 大塚飯高	董珂一郎 ほの匠由朱 越藤加倉	帆羽花音 乃那花 安田安野	隼結詩郎 藤辺島莞 加渡木藤	と織月奈 お郁結裕 木嶋谷橋 村田長本	風咲子菜 結透秋 本木賀木 坂鈴多鈴
みせ いみすず木しく じよいけいあ	みせ 山下にしのはる い	みせ たけおし あ	みせ こ ゆめ ゆりな	みせ こ さいとう あ	みせ い ゆりな	みせ ばん むらわな じん まき ま	みせ 山下じん わい あ
みせ いづみ あおい	みせ えま	みせ ゆめ	みせ ゆりな	みせ い そうし	みせ い ゆりな	みせ あみ	みせ 新すず あ
みせ いづみ あおい	みせ あかり	みせ ゆめ	みせ ゆりな	みせ あ	みせ あ	みせ あみ	みせ ゆりな
鈴木松平 木井松林 優碧ゆ	零杏碧 優ゆ	英哉舞結 紗晴咲望 堀西太飯 井野田飯	あい美奈 心祐 山尾池橋 福武菊高	か栗美奈 長劉櫻宗 谷井像 長劉櫻宗	弦衣奈菜 右恵莉結 川優結 根藤田坂 中齋富秋	梨紗士詩 光蒼 根藤田坂 中齋富秋	晴寬來南 健千侑結 田川下丸 大石杉持

硬筆部当選作品

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

金 特待 中三 佐藤 美月

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

緑 進科 中二 仁田 創太

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

いのみ 中三 平山 穂乃花

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

和心 進科 中三 石川 佳理奈

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

いのみ 八段 中三 後藤 稔南

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

金 進科 中三 戸 羽琉

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

ボロン 六段 中一 藤原 右卿

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

茨 五段 中二 比嘉 忠愛里

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

ゆ 準五 中二 大木 林友乃

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

葵 準 中二 香川 優月

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

茨 四段 中二 吉沢 由美

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

山下 準 中二 祭田 蘭

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

筆 準 中三 松縄 沙帆

プラネタリウムを鑑賞した。
ギリシャ神話の神々と星座の
世界に引き込まれた。

和心 準 中二 西野 ひまり

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

筑波 特待 中一 岡田 美咲

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

金 準 中一 上島 桜羽

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

番 準 中一 大山 かりん

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

和心 準 中一 佐藤 心結

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

うみ 中一 上岡 晴香

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

筆 準 中一 合田 陽菜

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

狭 準 中一 新井 梢

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

狭 準 中一 樽谷 ゆいな

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

春 準 中一 嘉瀬 井菜心美

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

いび 準 中一 飯佐 真斗

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

全真 四 中一 久地 岡里奈

太陽が家の軒先や木の枝
を照らすと、氷の柱がきら
きらと光ります。

葵 準 中一 山口 一誠

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

美玉 準 六年 北村 玲乃

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

和心 十 六 大泉 寿生

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

紀 準 六 富田 弥沙

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

いのみ 九 六 関野 一栞

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

仁 準 六 土屋 柊湖

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

金 八 六 菊池 心美

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

鬼扇 準 六年 村上 不矩

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

金 七 段 六年 野崎 奈央

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

緑 準 七 六 仁田 修也

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

金 六 段 六 鈴木 杏菜

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

金 準 六 六年 中村 楓香

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

山下 五 段 六 大高 桃

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

彩 準 四 段 六 村本 佳穂

除雪車は、道路に積もっ
た雪を取り除きながら、力
強く進んでいきます。

山下 準 六 六 沢田 あやめ

硬筆部当選作品

除雪車は、道路に積もった雪を取り除きながら、力強く進んでいます。

金 準四 六 白土 遼真

除雪車は、道路に積もった雪を取り除きながら、力強く進んでいます。

いみ 三 段 渡辺 詩重

除雪車は、道路に積もった雪を取り除きながら、力強く進んでいます。

妃扇 準五 六 大下 菜太

除雪車は、道路に積もった雪を取り除きながら、力強く進んでいます。

山下 準五 六 鎌倉 つばさ

除雪車は、道路に積もった雪を取り除きながら、力強く進んでいます。

いみ 初 段 六年 関根 冷那

除雪車は、道路に積もった雪を取り除きながら、力強く進んでいます。

ゆ 初 六年 藤枝 愛菜

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

金 十 段 五年 山元 葵 衣

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

仁千 九 段 五 長村 均音

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

和心 準九 五 鈴木 咲那

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

筑波 八 段 五年 岡田 健吾

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

仁千 準八 五 川口 心結

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

金 七 段 五年 渡邊 隆仁

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

緑 準七 五 飛田 幸輝

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

いみ 六 段 五 吉岡 彩羽

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

紀 準六 五 大保 華

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

仁千 五 段 五年 山村 稟

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

美至 五 段 五年 柳 日天潤

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

いみ 四 五 小林 優香

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

ゆ 準四 五年 金沢 妃奈乃

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

金 準三 五年 中島 祐閔

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

妃扇 準五 五 藤浪 俊心維

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

ゆ 二 五年 織笠 創太

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

筆榮 準二 小五 神戸 咲也子

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

幸祐 初 五年 松本 莞士

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

いみ 五 小澤 梨里

夜のうちに雪が積もり、朝、まどを開けると、銀世界が広がっていました。

和心 一 五 丹 咲良

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

仁千 七 段 四 杉本 優衣花

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

和心 大 段 四 森 采香

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

仁千 五 段 四 秋田 かれん

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

紀 準五 四 増田 葵子

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

川口 四 段 四 鈴木 舞帆

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

森 三 四 宮島 あおば

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

紀 準三 四 伊藤 有希

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

妃扇 二 段 四 舟橋 咲夏

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

山下 五 段 四 大高 羽翼

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

清風 初 段 四 渋谷 穂乃華

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

山下 進 初 四 三村 歩夢

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

清風 一 四 金田 千佳

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

いみ 七 段 四年 清宮 理人

こたつに入って温まりながら、家族全員でみかんを食べました。

あま 準二 四年 吉岡 優衣

紀風	芦花	翠筆	光野	淨真	一會	新	い	金	翔	羽	紀	い	筆	滑	清	い	香	ゆ	ゆ	ボ	紀	東	東	聖	瑞	幸
繩	林	泉	野	真	會	10	0	9	風	東	丹	0	滑	海	風	竹	春	ゆ	ゆ	ポ	東	東	聖	瑞	幸	
岩田	赤嶺	高島	森	真	特	入	級	級	級	級	級	級	日	太	大	谷	竹	か	か	口	東	東	聖	瑞	幸	
紀風	心峰	泰健	清順	邑燦	芳子	松	級	級	級	級	級	級	早	洋	白	香	秀	文	香	筆	東	東	聖	瑞	幸	
い	一	一	一	一	一	師	級	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
石川	西島	月村	西村	武村	寶	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
白櫻	玲子	澄枝	泰代	里彩	望	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
滑川	長沢	聖心	華音	愛知	華音	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
太田	井坂	高橋	影山	飯嶋	矢野	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
洋子	絹枝	道子	貴仙	隆代	紀子	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
北筆	筆泉	早川	浄真	彩虹	風流	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
清水	鈴木	栗山	長谷川	真沼	真栄	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
誠喜	美	鷺色	瑞幸	幸玉	春翠	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
筆	い	早川	聖心	聖心	聖心	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
小川	石川	花園	深井	比屋	山	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
邑白	清	翠樹	翠樹	輝子	梅	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
紀風	早	全	聖	聖	聖	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
杉村	野	小	鈴	貝	真	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
方里	瑞	桂	春	春	聖	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
早	沖	正	三	三	三	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
川	心	儀	原	西	西	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
園	井	保	堂	堂	堂	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
清	翠	芳	弘	和	清	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
遠	樹	麗	聖	和	清	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
北	筆	筆	筆	筆	筆	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
斗	泉	泉	泉	泉	泉	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
小	川	川	川	川	川	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
日	下	川	川	川	川	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
裕	早	靖	貴	加	新	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
樹	苗	子	子	子	子	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
翠	翠	翠	翠	翠	翠	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
煌	蘭	真	翠	翠	翠	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
雅	芳	三	三	三	三	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
雅	三	三	三	三	三	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
風	三	三	三	三	三	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
い	い	い	い	い	い	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
な	い	い	い	い	い	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
い	い	い	い	い	い	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
な	い	い	い	い	い	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
青	吉	小	飯	白	藤	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
木	川	渡	崎	鷗	藤	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
早	著	奈	優	仲	則	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
苗	那	梓	子	子	子	師	級	級	級	級	級	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

新入
真翠 江田 柚奈
小五年

Table with 10 columns and 10 rows of names and grades for the 'Small 5th Year' (小五年) section. Includes names like 真翠, 江田, 柚奈, 特鈴木, 彩心, etc.

小四年

Table with 10 columns and 10 rows of names and grades for the 'Small 4th Year' (小四年) section. Includes names like 結花, 森, 特宮島, etc.

小三年

Table with 10 columns and 10 rows of names and grades for the 'Small 3rd Year' (小三年) section. Includes names like 早川, 山下, 三村, etc.

小二年

Table with 10 columns and 10 rows of names and grades for the 'Small 2nd Year' (小二年) section. Includes names like 若草, 若草, 若草, etc.

Table with 10 columns and 10 rows of names and grades for the 'Small 1st Year' (小一年) section. Includes names like 若草, 若草, 若草, etc.

〈令和八年度前期硬筆部昇格試験課題参考〉

小学4年

小学5年

小学6年

中学1年

中学2・3年

これまで特待生として合格された皆さんには、その努力を称え記念楯を贈呈してまいりましたが、顕彰方法の見直しに伴い、本試験より贈呈を終了いたします。
何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

水は温度が変わると、水じょう気や氷にすがたを変える。不思議だな。

一輪車に乗る練習をした。何回も転んだけれど、やっと乗れるようになった。

卒業文集ができました。一人ひとりの将来への夢と希望が詰まった一冊です。

読書は、集中力が身に付くので、私は毎月本を読むことを目標にしている。

プロ野球の開幕戦を観戦するために球場を訪れた。応援席では声援が送られている。

令和八年度 前期硬筆部昇格試験用付せん

三行型は276%、ます型は307%拡大で原寸大になります。

幼年

小学1年

小学2年

小学3年

おみ
どん
ろな
うで

さま
いたく
いしが
すみか
すれお
の花をし

よだ
てち土
いと曜
ですサ
す。日
。に
カ。広
ー。場
をす。で
する友

動と
き、時
始は計
めり
た。に
。電
。池
。を
。入
。ク
。タ
。ク
。と

のり	のり
師範試験	ペン 昇試
受験者のみ記入	学年
支部長名	一般学生共
支部	姓
合格通知発送先住所	名(号)
〒()	新段級
※合格通知連絡のため	現段級
	昇格年期
	年
	期
	8年前期

令和八年度前期硬筆部 昇格試験作品募集

送り先 真弓書道會事務所
水戸市宮町一―九一八―二〇八
締切 令和八年三月三十日
課題 上記の通り
出品料 一、一〇〇円
(各支部長とりまとめの上、出品者一覽表を添えて御出品下さい。)
出品料は極力現金書留か郵便振替で納入のこと。振替で送金の際は領収書を同封すること。(コピー可) 出品締切日までに出品料を取っていない場合は、審査から除外されますからご注意ください。
合格 合格者は実力相当段級に昇格又は編入する。成績は「文華」誌上に掲載する。
用紙 月例競書用紙を使用する。作品には支部名、現段級、氏名をはっきり書いてください。
付せん 支部名、氏名、現在段級を書いた昇格試験用の付せんを必ず作品の左下部に貼付してください。
送付 昇試作品は月例競書作品と同封しないこと。封筒には必ず「昇試」と朱書すること。
審査 審査後着は審査対象外となります。審査料 一点に付 五〇〇円(事務所又は添削担当の先生にお願いして下さい。)

師範試験、受験者は太線で書き添付

文武両道

中学1年

将来の希望

中学2・3年

浮雲任去來

自運(1級以下)

醴南注丹霄

九成宮醴泉銘(師範~準初)

心がけ

小学3年

左右

小学4年

平安

小学5年

春光

小学6年

くち

幼年

ほし

小学1年

いちか

小学2年

随意部

集字聖教序

「仰徳而知道」

臨書部

十七帖

「牟、足下何以」

校庭の桜が、今を盛りと咲いています。

少年よ大志を抱け
少年よ大志を抱け

新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。

おはよう、という元気な声か、教室にひびきます。

新しいノートに、自分の名前を書いた。

西の空に、きれいな星が見えました。

よんもうとに、え本をよんであげました。

あさがおひまわり
たねまき

はだか
なご

はだか
なご

幼年

小学1年

小学2年

小学3年

小学4年

小学5年

小学6年

中学1年

中学2・3年

第118回 日展

入選 中山 白堂



8 × 7

猶勤 壘 畝

初入選 辻 いづみ



9 × 7

明哲保身

作品サイズ縦×横 (cm)

事務所へ作品送付の際は必ず封筒に「〇月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。

競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。

また、前納による誌代納入にご協力の程をお願いいたします。

発行所 真弓書道會事務所

発行者 辻 敬 齋

略歴

中国西泠印社名誉社員

(社)日展無鑑査

《改組新第7回・第11回日展特選》

読書法会 常任理事

《読完準大賞2回》

謙慎書道会 常任理事

全日本篆刻連盟 副事務局長

北斗文會 副理事長

茨城書道美術振興会 副理事長

筑波大学大学院芸術研究科修了

大東文化大学文学部卒業

《書道部幹事長》

〒310-0015 茨城県水戸市宮町一九八・二〇八

TEL 〇九〇-四二六-五〇二八

FAX 〇二九-二九七-七七四六

ホームページ

mayunishodokukai.wixsite.com/site/blank



名 氏